



“矢中の杜” 2014

NPO 法人 “矢中の杜” の守り人 会報

活動記録

2014年度活動記録

- 4月 焼き菓子カフェ (3月29・30日、1日)
竹垣・土壁ワークショップ (13日)
第5期守り人育成講座 (13・27日)
- 5月 竹垣・土壁ワークショップ (18・25日)
- 6月 文化遺産教育事業 北条小学校への出前授業 (24日)
- 7月 外部講演 県南生涯学習センター (3日)
守り人満喫デー 山桃狩り (6日)
文化遺産教育事業 矢中の杜での調べ学習 (7日)
むかしの手ぬぐい展 (19日～8月9日の毎週土曜日)
- 8月 貸スペース事業 将棋大会 (10日)
貸スペース事業 学習会 (19日)
別館北側擁壁修繕工事 (28日～12月3日)
- 9月 外部講演 茨城県「いばらき地域づくり人材育成講座」フィールドワーク受入れ (20日)
守り人育成講座 フォローアップ講座 (28日)
- 10月 大谷石擁壁(横井戸上)修繕工事 (1日～12月3日)
竹垣・土壁ワークショップ (19日)
宮清大蔵コンサート協力事業 (25日)
筑波山麓秋祭り2014 邸宅公開 (25日～11月3日の土休日)
外部講演 石岡市まちづくりセミナー (30日)
- 11月 筑波山麓秋祭り2014 たてもん文様帖ワークショップ～矢中の杜の巻～ (1日)
- 12月 文化遺産教育事業 報告会 (7日)
- 1月 ナショナルトラスト機関紙「報」寄稿 (1月号に掲載)
- 3月 貸スペース事業 食事会 (21日)
乙女のつくば道2015「御殿まるごとマーケット」(28・29日)

メディア掲載等

- 常陽新聞『ひと』 理事長・早川 公に関する記事掲載 (4/11)
- 常陽リビング 「守り人育成講座」募集記事掲載 (4/12)
- つくばスタイルブログ 記事掲載 (6/10)
- つくスタ情報局Facebook 記事掲載 (6/25)
- 常陽新聞 「北条小出前授業」記事掲載 (6/26)
- ezpress 7月号 「むかしの手ぬぐい展」記事掲載 (7/1)
- つくば市市民活動センター広報紙「びよ」 矢中の杜活動に関する記事掲載 (7/1)
- 常陽リビング 北条小授業記事掲載 (7/5)
- 常陽リビング 「むかしの手ぬぐい展」記事掲載 (7/19)
- 産経新聞 「むかしの手ぬぐい展」記事掲載 (7/20)
- 情報誌『iChat』(あいちゃっと) 北条地区まちあるき記事掲載 (7/25)
- 常陽リビング 「筑波山麓秋祭り2014」記事掲載 (10/18)
- 日本ナショナルトラスト機関紙「報」 特別見学会 (9/14) の記事掲載 (11/1)
- 日本ナショナルトラスト機関紙「報」 矢中の杜活動の記事掲載 (1/1)
- つくば市のプロモーションサイト「つくば、ホンモノ! 夢特区!」掲載 (1/9)
- ことりっぶ つくばさんぽ 掲載 (1月)
- 朝日新聞茨城マリオン 「御殿まるごとマーケット」記事掲載 (3/1)

NPO 会員数 (2015年3月31日現在)

正会員	15名	/	友の会会員	22名
賛助会員	3名	/	ボランティア会員	22名
合計	62名			

邸宅活用イベント



むかしの手ぬぐい展

①矢中の杜の新たな活用実績を作る ②通常の邸宅公開以外の企画を行うことで、“矢中の杜”の認知度を高めるとともに、リピーターにも楽しめる機会を作る ③邸宅内に残る文化的資源の調査およびその活用に寄与すること等を目的として、古き良き昭和の時代にまちなかで盛んに配られた懐かしのお店の手ぬぐいを集め、テーマ毎に展示する企画展を実施しました。地下室では「北条なつかし商店街」と題して、北条商店街のいろいろなお店の手ぬぐいを展示、邸宅内では各部屋ごとに「夏のお茶の間」「読書三昧」「おもてなし」「筑波山づくし」などのテーマを設けて、展示を行いました。

計5日間で約200名の入場者があり、大変好評を博しました。



乙女のつくば道2015 「御殿まるごとマーケット」

今年度も、「ゆけゆけ乙女のつくば道」(2012年より、地域活性化のためにつくば道・筑波山を愛する有志(乙女と“元”乙女)が集まって開催している企画)に今年度も参加しました。矢中の杜では「御殿まるごとマーケット」と題し、かつて「矢中御殿」と呼ばれたほど豪華な旧矢中邸を余すところなくまるごと使って、つくばを拠点に活躍中のセンスとエネルギー溢れる出店者による2日間限定のマーケットを開催。2日間で延べ約650名と非常に多くの方が来場され、終日大変な賑わいとなりました。邸宅活用の可能性が広がった上、矢中の杜の広報においても効果の高いイベントとなりました。



文化遺産教育事業 (チームえでゅっく)



たてももの文様帖ワークショップ ～矢中の杜の巻～

「筑波山麓秋祭り2014」の企画として、矢中の杜の文様を題材にした文様帖ワークショップを開催しました。講師として、これまでも数々の有名建築を題材に紋切りワークショップを実施してきた、エクスプランテの下中菜穂氏を迎え、邸宅内の文様探しをして、実際に邸宅内にある文様を題材に切り紙カードを作る内容でした。NPO会員を含め18名の参加があり、参加者からは大変好評をいただきました。邸宅の魅力の新たな発見にもつながる、大きな価値のあるイベントとなりました。



文化遺産教育事業 (チームえでゅっく)

矢中の杜を舞台とした教育企画を実現するため、NPOメンバーで構成するワーキンググループ「team えでゅっく (メンバー 9名)」にて、以下の活動を行いました。

①小学校での出前授業「写真で推理！昭和の暮らし」、矢中の杜での調べ学習「昭和の暮らしと今の暮らしを比べてみよう」を企画し、学習用ワークシートを作成。地元の北条小学校に、これらの教材を用いた授業の実施を提案し、つくば市の独自カリキュラム「つくばスタイル科」に組み入れ、5年生の児童に実施しました。

②小中学生向けの邸宅公開アンケートを作成・実施し、子供たちが興味を持った内容を分析しました。これらのアンケート結果や、小中学生にガイドをした際の経験を基に、子供向けガイドのプログラムをまとめました。



矢中の杜での調べ学習用ワークシートを見ると、子供たちがそれぞれの視点で邸宅のことを感じ取ったり、興味を持ったことがわかりました。授業を受けた児童の中には、後日、土曜日の邸宅公開に遊びに来てくれたり、ガイドについたスタッフに、授業で聞き覚えしたことを話して聞かせたりする子供もいて、子供たちにも文化財や昭和の暮らしが強く印象に残ったことがうかがえます。

矢中の杜での調べ学習用ワークシートより (抜粋)

Q 友達に紹介したいものは？

- ・居間のテレビ (いまはカラーでしかみられないけど、しろくろでみえるし、カラーでもみえるからです。)
- ・書斎のふすま絵 (雪のけっしょうがとてもきれいで白とか水色とかきれいなものがいっぱいあったからです。)
- ・女中部屋のミシン (停電してもこのミシンは足で下の足ぶみをふんで動くので電気を使わない 昭和のミシンはエコだからです。)
- ・女中部屋のテレビ (アンテナがふしぎな形をしているからです。)
- ・女中部屋の鏡台 (サザエさんのふんい気を感じてきて、とても、レトロでいいかんじだなと思ったからです。)
- ・台所のかまど・いど (宿泊学習でかまどをやったすごくおいしくできてきょうな物だからです。)
- ・玄関のつるの絵のふすま (自分の家にあるふすまがないからです。あとふすまにえがかいてあるとおちつくからです。)

Q 昭和のくらしをしてみたいと思いますか？

- ・はい (いろいろめずらしいものがいっぱいあったのしそだからです。)
- ・はい (サバイバルみたいなかんじだからです。)
- ・はい (ちょっと夜はこわいけど茶色がいっぱいあって、木のおいがとてもいいし、昔の家はとてもりっぱだからです。)
- ・はい (昭和の時の食べものを食べてみたいからです。あとやなかりゅうじろうさんのへやでくらしてみたいからです。)
- ・はい (自分でコツコツと作業できて、ゆっくり落ちついた感じがすごそうだからです。)
- ・はい (今の家と昔のちがいが知りたいし、どのくらいいいんのかたいけんしたいからです。)
- ・いいえ (テレビでしろくろでみられるけど、使い方ややり方が分からないからです。)
- ・いいえ (古くてこわかったし和しきだとほこりが出やすいからアレルギーになるからです。)

邸宅の保存活用



邸宅公開

邸宅を幅広くご覧いただくため、毎週土曜日に邸宅公開を行っています。邸宅の建築的・文化的な特徴や、邸宅に込められた矢中龍次郎氏の思いをより深く楽しんでいただくため、ガイドツアー制でスタッフがじっくりとご案内しています。年間のガイド人数は627名で、イベント等を含めた来場者数は1,456名を数えました。



貸スペース事業

邸宅を広く活用していただき、また活用を通じて旧矢中邸の保存を普及啓発するため、貸スペース事業を行っています。2014年度は3団体の実績があり、なかでも、つくばボードゲーム愛好会と筑波大学将棋部の企画による小中学生対象の将棋大会「龍次郎杯」では、別館2階応接間を舞台に白熱した対局が展開され、邸宅の新たな活用方法としても有意義な企画となりました。



邸宅の修繕・清掃

今年度も、東日本大震災と竜巻の被害箇所の復旧を行いました。修繕工事には各種補助金を活用し別館北側擁壁の補強工事や横井戸上の大谷石擁壁の復旧工事を行いました。

また、邸宅の清掃や、NPO友の会会員で造園業を営む東郷宏氏の協力の下、枯れ木の剪定等も行いました。



グッズ制作

昨年度制作したオリジナルポストカードに加え、「むかしの手ぬぐい展」を機に矢中の杜オリジナル手ぬぐいを制作しました。また、「たてもの文様帖ワークショップ」を機に紋切り関連書籍、理事長も共同著者となっている書籍「筑波山から学ぶ」なども取り扱っています。

普及啓発・地域資源研究

守り人育成講座

今年度も、「中央ろうきん助成プログラム」の助成により「守り人育成講座」を実施し、6名が受講しました。例年通り2回の座学と1回のガイド演習の3回構成でしたが、今年度は日曜日の日中開催とし、昨年度までのガイドポイント説明の際に邸宅が暗くてよく把握できないという点を解消しました。修了生は、邸宅公開でガイドスタッフとして活躍しています。

また、今年度初の試みとして、NPO会員・守り人育成講座修了生を対象にフォローアップ講座を実施しました。NPOの正会員でもあり、東京芸術大学助手でもある小林直弘氏を講師に迎え、建造物を主軸に、文化財保護の制度や法律、事例などについて学びました。



竹垣・土壁ワークショップ

昨年度からの続きで、竹垣・土壁ワークショップを実施。NPO友の会会員で造園業を営む東郷宏氏の指導の下、地元・筑波高校の生徒も参加して、竹垣制作を行いました。今年度は、4月に竹小舞の制作、5月に下地塗りを行い、十分な乾燥の後、10月に仕上げをして完成。守り人たちにより、矢中の杜らしい、素材感や「手ざわり」のある竹垣が完成しました。



守り人満喫デー（山桃狩り）

NPO会員が矢中の杜や筑波山麓地域を楽しむ企画「守り人満喫デー」の企画として、NPO会員で造園業を営む東郷宏氏主催の山桃狩りに参加しました。つくばの地域資源について、新たな一面を発見する企画となりました。